

# 健診検査項目のご説明

(検査結果についてご不明な点はお問い合わせください)

## 身体計測

**標準体重** 身長(m)×身長(m)×22で計算します

**BMI** 体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)で計算する肥満指数です  
22が最も病気が少ないとされています

## 呼吸器

**胸部X線** 肺の病変や心臓の大きさなどを調べる検査です

**肺機能** 肺活量や1秒間にどれだけの空気を吐けるかを調べる検査です

## 循環器

**血圧** 高血圧かを判断します  
高血圧は動脈硬化の危険性が高まります

**心電図** 不整脈、狭心症、心筋梗塞、心肥大などを調べる検査です

## 腹部超音波

肝臓、胆嚢、腎臓、脾臓などの病変を調べます

## X線造影・内視鏡

食道、胃、十二指腸の病変を調べます

## 便潜血

便中の微量の血液を検出します  
大腸がんの検査です

## 眼科

**視力** 急な視力低下は視神経や網膜の病気の可能性もあります

**眼圧** 高い場合は緑内障の疑いがあります

**眼底** 糖尿病、高血圧による網膜の病変、緑内障、黄斑変性などの病気を調べます

## 肝機能

**AST(GOT)** 心臓・肝臓・筋肉などの細胞内の酵素で、肝炎などの肝細胞の障害で高くなります

**ALT(GPT)** 主に肝臓の細胞内の酵素で、肝炎など肝細胞の障害で高くなります

**γ-GTP** アルコールの摂取量が多いときや脂肪肝などで高くなります

## 血球

**白血球** 喫煙、細菌感染、白血病などで高くなります

**赤血球・ヘモグロビン** 喫煙、多血症、脱水などで高くなり、貧血の場合は低くなります

**血小板** 出血を止める役割をします  
血液の病気や肝臓の病気などで異常な数値になります

## 脂質代謝

**総コレステロール** 血液中のコレステロールの総量で高値は動脈硬化の危険因子です

**HDLコレステロール** 善玉コレステロールとも言われ、低い場合は動脈硬化の危険性が高まります

**LDLコレステロール** 悪玉コレステロールとも言われ、高い場合は動脈硬化の危険性が高まります

**中性脂肪** アルコール、糖質、脂質などの摂りすぎで高くなり、動脈硬化や糖尿病、膵炎などを起こし易くなります

## 尿酸代謝

**尿酸** 肉・魚・アルコールなどの摂り過ぎで高くなり、痛風発作や腎結石などの原因になります

## 糖代謝

**血糖** 血液中の糖の量で、糖尿病で高くなります

**HbA1c** 過去1~2か月の血糖の状態を表します

**尿糖** 血糖値が高いときに尿に糖が排出され陽性になります

## 腎機能

**尿蛋白** 高血圧、糖尿病、慢性腎炎等により腎障害などで陽性になります

**クレアチニン** 腎臓から排出される物質で、腎臓の働きが低下すると値が上がってきます

**eGFR(推定糸球体濾過量)** 腎臓の機能を表します  
低い場合は腎臓の機能が低下していることを意味します